

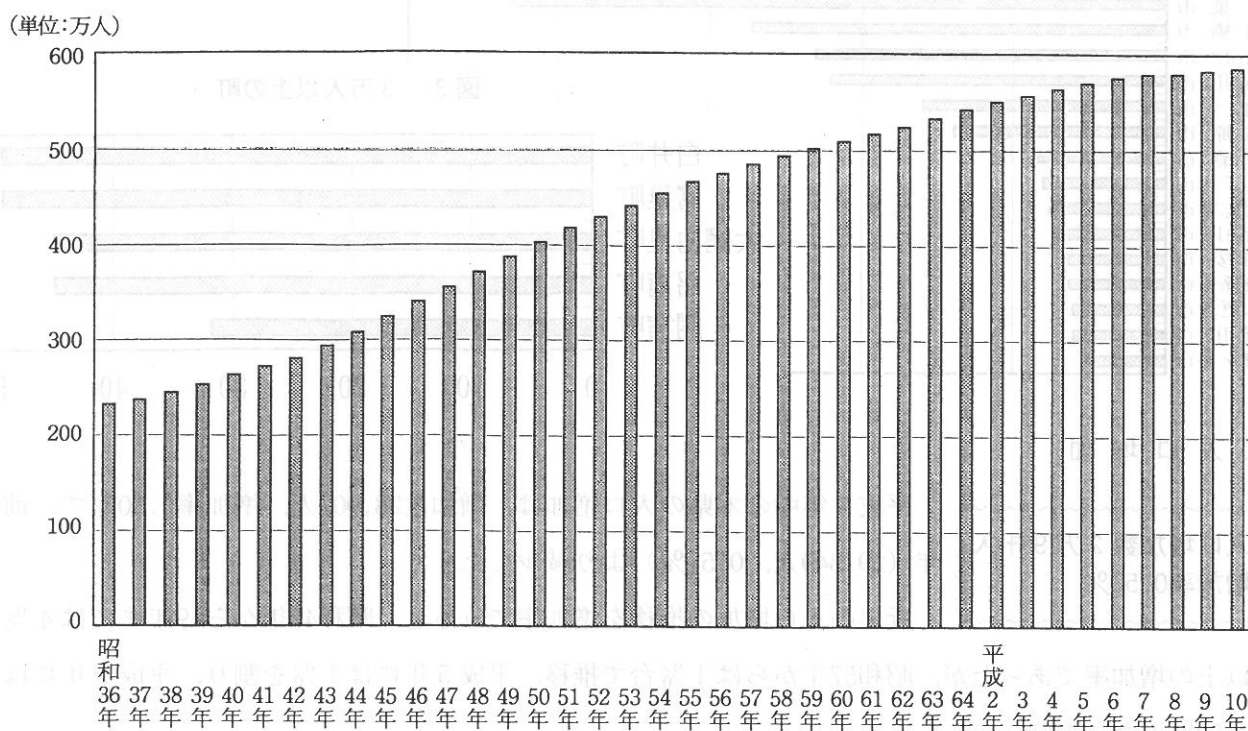
# 結果概要

## 1. 人口総数

県人口586万人

平成10年1月1日現在の本県の人口は5,862,623人で、前年人口の5,833,716人に比べ28,907人、率にして0.50%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和43年7月1日現在では300万人を超えて、3,011,134人となった。さらに、昭和49年11月1日現在では400万人を超え4,002,808人となり、昭和58年9月12日に500万人を突破した。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）



平成7年国勢調査（平成7年10月1日現在）によると、本県の人口は5,797,782人で全国第6位となっている。

千葉県人口86万5千人  
県人口の14.8%を占める

平成10年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（31市）のうち10万人以上の市は15市あり、そのうち千葉市が86万5千人（県人口に占める割合14.8%）で最も多く、郡部人口74万5千人（同12.7%）より多くなっている。以下、船橋市54万6千人（同9.3%）、松戸市46万1千人（同7.9%）、市川市44万2千人（同7.5%）、柏市32万人（同5.5%）の順で続き、この5市で県人口の44.9%を占めている。

郡部（44町5村）では、白井町が4万9千人（同0.8%）で最も多く、以下、富里町4万9千人（同0.8%）、大網白里町4万5千人（同0.8%）、沼南町4万5千人（同0.8%）、関宿町3万2千人（同0.5%）の順となっている。

図2 10万人以上の市

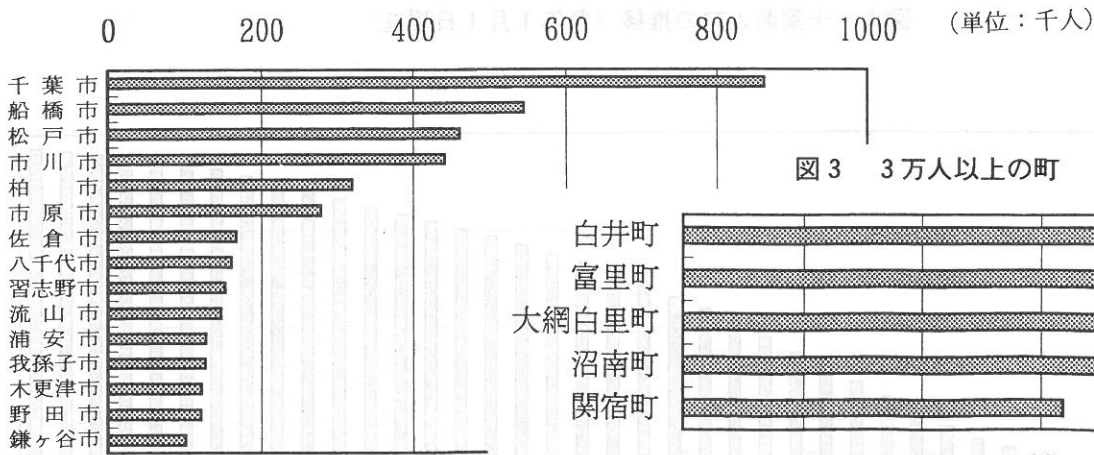
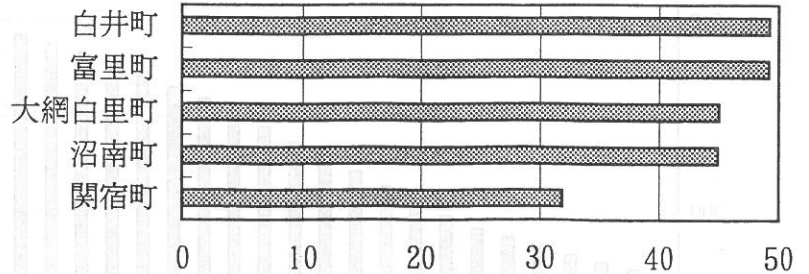


図3 3万人以上の町



## 2. 人口増加

人口増加数2万9千人  
増加率0.50%

平成9年中の本県の人口増加は、増加数28,907人、増加率0.50%で、前年（29,349人、0.51%）より減少した。

近年の人口増加の推移を増加率で見ると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成9年には0.50%となった。

自然増加数は減少へ

平成9年中の自然増加は、増加数20,585人（出生55,427人、死亡34,842人）で、前年の22,044人（出生55,961人、死亡33,917人）に比べ出生が534人減少し、死亡が925人増加して自然増加数は1,459人減少となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）で見ると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成9年は0.35%となった。

社会増加数は増加へ

平成9年中の社会増加は、増加数8,322人（転入209,081人、転出201,101人、県内移動他342人）で、前年の7,305人（転入209,223人、転出202,637人、

県内移動他719人)に比べ、転入が142人減少し、転出が1,536人減少し、県内移動他が377人減少して、社会増加数は前年に比べ1,017人の増加となった。

近年の社会増加を増加率(各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合)でみると、昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成9年には0.14%となった。

図4 人口増加率の推移(昭和36年~平成9年)

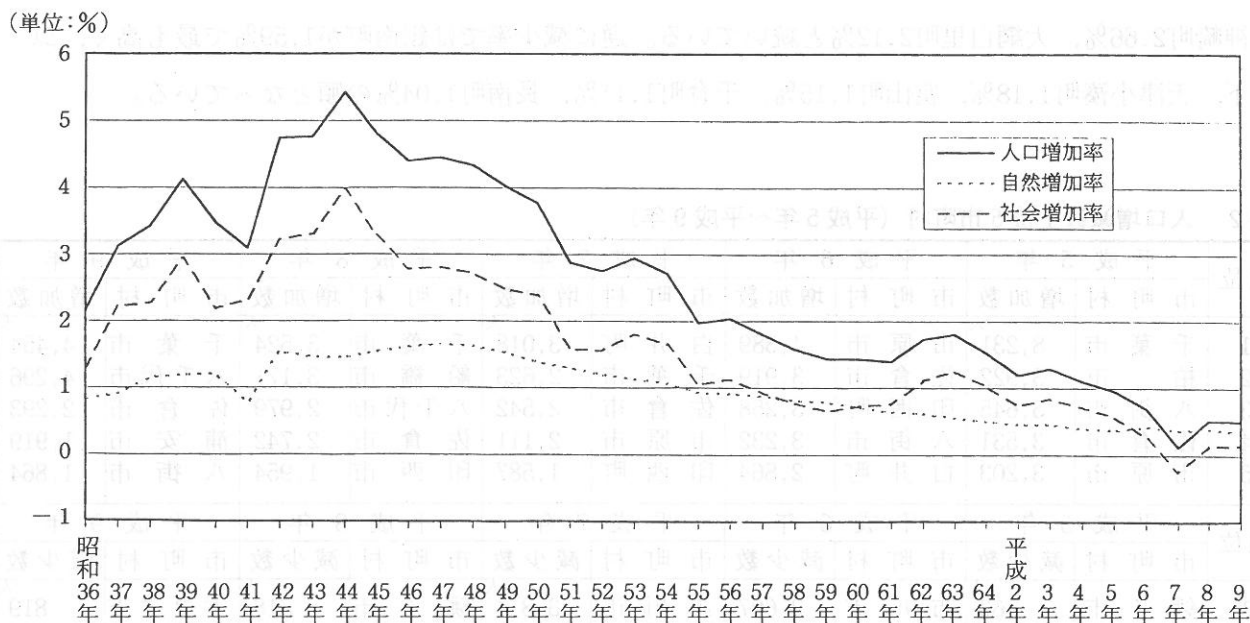


表1 月別動態別人口増加数(平成9年中)

(単位:人)

	人口増加	自然増加			社会増加			
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	県内移動他
1月中	603	776	5,026	4,250	-173	12,278	12,266	-185
2月中	196	1,167	4,193	3,026	-971	13,197	13,805	-363
3月中	-9,550	1,314	4,441	3,127	-10,864	38,260	45,707	-3,417
4月中	17,540	1,508	4,415	2,907	16,032	36,253	23,872	3,651
5月中	4,063	2,141	4,846	2,705	1,922	14,598	13,237	561
6月中	2,446	2,040	4,700	2,660	406	12,671	12,532	267
7月中	1,714	2,263	5,000	2,737	-549	15,338	15,715	-172
8月中	2,879	2,101	4,623	2,522	778	14,546	14,166	398
9月中	2,356	2,169	4,741	2,572	187	14,062	13,601	-274
10月中	3,072	2,018	4,833	2,815	1,054	15,092	13,991	-47
11月中	2,238	1,454	4,172	2,718	784	11,088	10,217	-87
12月中	1,350	1,634	4,437	2,803	-284	11,698	11,992	10
計	28,907	20,585	55,427	34,842	8,322	209,081	201,101	342

注) 県内移動他とは、県内間の転入・転出及び職権による記載・消除等をいう。

46市町村で人口増加  
最高増加率は本埜村36.72%

平成9年中の人口増減を市町村別にみると、46市町村で人口が増加（平成8年中44市町村）し、34市町村で減少した。

増加数では千葉市が4,454人（県人口増加数に占める割合15.4%）で最も多く、以下八千代市4,296人（同14.9%）、佐倉市2,293人（同7.9%）、浦安市1,919人（同6.6%）、八街市1,864人（同6.4%）と続いている。逆に減少数では木更津市が819人で最も多く、以下、銚子市580人、佐原市288人、鴨川市270人、館山市269人の順となっている。

また、人口増加率では本埜村が36.72%で最も高く、以下、八街市2.76%、八千代市2.73%、神崎町2.66%、大網白里町2.12%と続いている。逆に減少率では鋸南町が1.59%で最も高く、以下、天津小湊町1.18%、富山町1.15%、千倉町1.11%、長南町1.04%の順となっている。

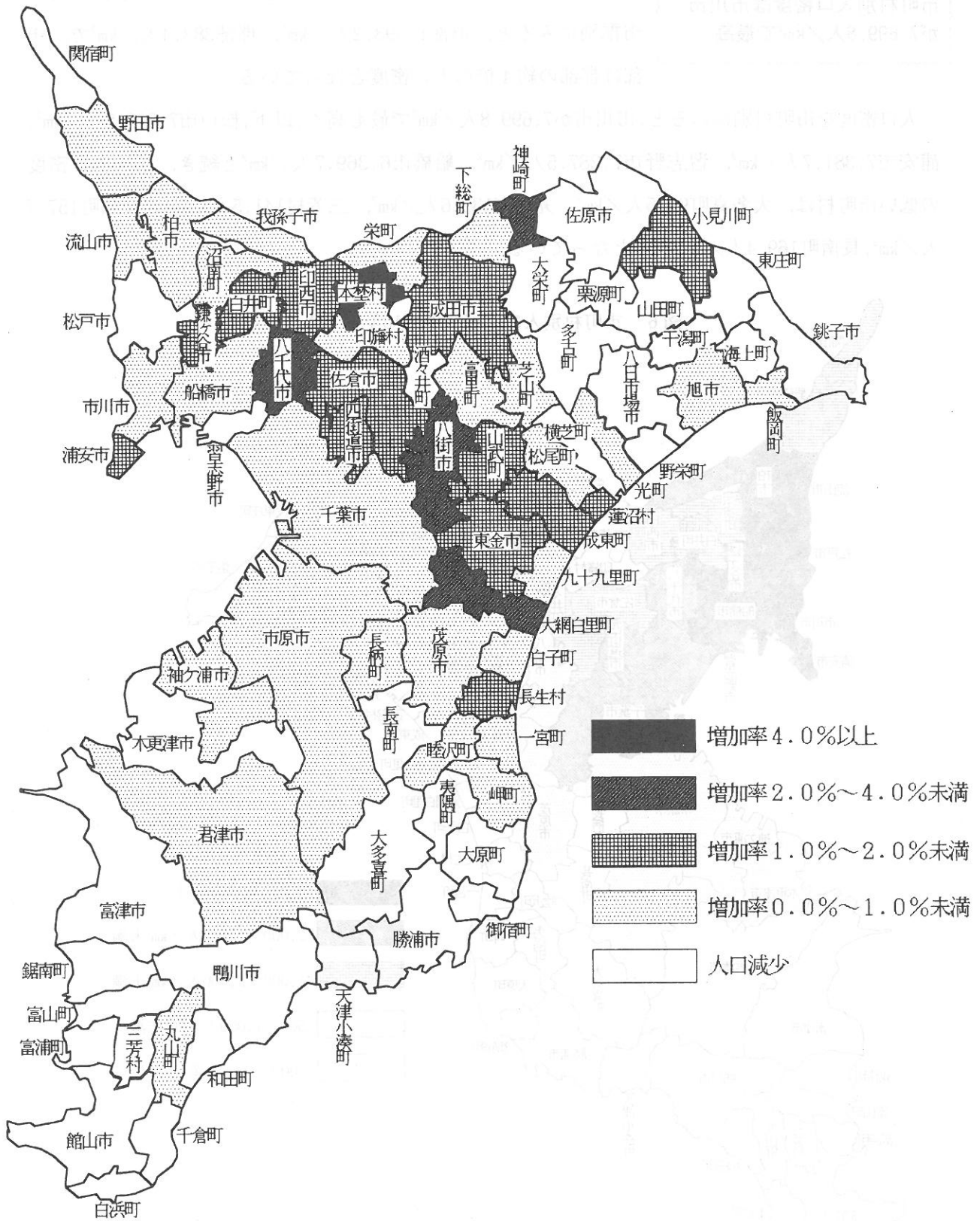
表2 人口増減数上位5市町村（平成5年～平成9年）

順位	平成5年		平成6年		平成7年		平成8年		平成9年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	千葉市	8,231	市原市	4,389	白井町	3,018	千葉市	3,524	千葉市	4,454
2	柏市	3,922	佐倉市	3,919	千葉市	2,623	船橋市	3,171	八千代市	4,296
3	八街市	3,645	印西市	3,258	佐倉市	2,542	八千代市	2,979	佐倉市	2,293
4	佐倉市	3,531	八街市	3,232	市原市	2,111	佐倉市	2,742	浦安市	1,919
5	市原市	3,203	白井町	2,864	印西市	1,587	印西市	1,954	八街市	1,864
順位	平成5年		平成6年		平成7年		平成8年		平成9年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	銚子市	563	市川市	2,697	市川市	3,814	銚子市	618	木更津市	819
2	勝浦市	253	銚子市	643	松戸市	2,929	木更津市	408	銚子市	580
3	館山市	197	習志野市	400	木更津市	2,109	関宿町	269	佐原市	288
4	千倉町	160	館山市	284	八千代市	1,179	佐原市	240	鴨川市	270
5	大原町	137	木更津市	273	習志野市	1,161	松戸市	232	館山市	269

表3 人口増減率上位5市町村（平成5年～平成9年）

順位	平成5年		平成6年		平成7年		平成8年		平成9年	
	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率
1	八街市	6.36%	白井町	6.84%	白井町	6.75%	神崎町	5.02%	本埜村	36.72%
2	山武町	6.01%	山武町	6.30%	神崎町	5.69%	山武町	3.53%	八街市	2.76%
3	印西市	5.48%	印西市	6.12%	大網白里町	3.70%	印西市	3.37%	八千代市	2.73%
4	大網白里町	4.25%	八街市	5.30%	長生村	3.15%	大網白里町	3.00%	神崎町	2.66%
5	東金市	4.18%	大網白里町	4.75%	山武町	3.13%	八街市	2.86%	大網白里町	2.12%
順位	平成5年		平成6年		平成7年		平成8年		平成9年	
	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率
1	富浦町	1.85%	鋸南町	1.63%	白浜町	2.89%	和田町	1.73%	鋸南町	1.59%
2	白浜町	1.14%	富山町	1.44%	大多喜町	2.75%	本埜村	1.41%	天津小湊町	1.18%
3	千倉町	1.13%	和田町	1.15%	丸山町	2.29%	天津小湊町	1.27%	富山町	1.15%
4	富山町	1.05%	勝浦市	0.97%	和田町	2.26%	長南町	1.21%	千倉町	1.11%
5	勝浦市	1.01%	大多喜町	0.79%	横芝町	2.21%	千漣町	1.14%	長南町	1.04%

図5 市町村別人口増加率（平成9年1月～12月）

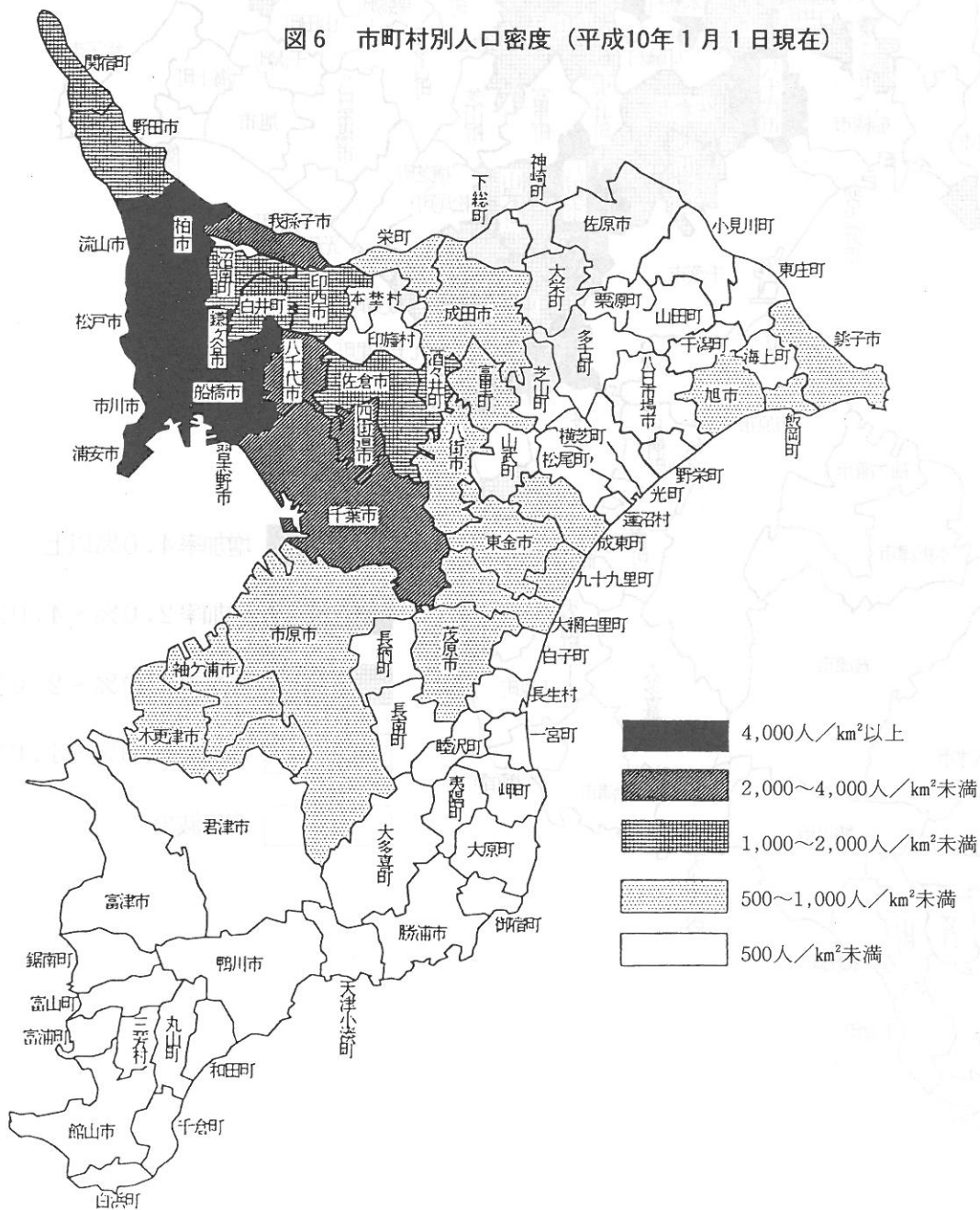


### 3. 人口密度

県人口密度1,137.1人/km<sup>2</sup>  
市町村別人口密度は市川市  
が7,699.8人/km<sup>2</sup>で最高

本県の人口密度は、平成10年1月1日現在1,137.1人/km<sup>2</sup>で、前年の人口密度（1,131.4人/km<sup>2</sup>）に比べ5.7人/km<sup>2</sup>高くなった。市郡別にみると、市部1,593.2人/km<sup>2</sup>、郡部383.4人/km<sup>2</sup>で、市部は郡部の約4倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、市川市が7,699.8人/km<sup>2</sup>で最も高く、以下、松戸市7,518.8人/km<sup>2</sup>、浦安市7,381.7人/km<sup>2</sup>、習志野市7,287.5人/km<sup>2</sup>、船橋市6,369.7人/km<sup>2</sup>と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町95.5人/km<sup>2</sup>、丸山町132.6人/km<sup>2</sup>、三芳村141.5人/km<sup>2</sup>、富山町157.7人/km<sup>2</sup>、長南町169.4人/km<sup>2</sup>の順となっている。



#### 4. 人口性比

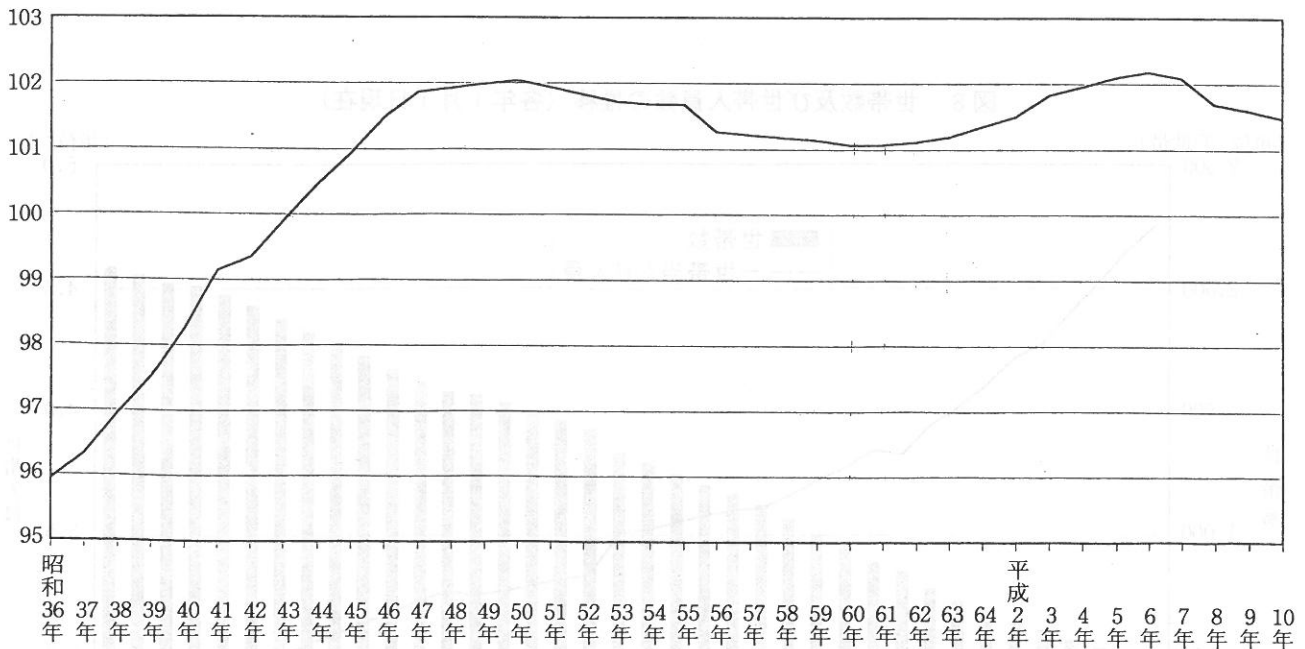
県人口性比101.5

平成10年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子2,952,815人、女子2,909,808人で男子が女子に比べ43,007人多く、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、101.5で前年（101.6）に比べ0.1ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、浦安市の107.5が最も高く、以下、市川市107.3、市原市106.4、船橋市105.4、下総町104.9で、逆に最も低いのは白浜町の82.9で、以下鴨川市88.7、千倉町89.7、富浦町90.2、大多喜町90.3となっている。100以上の市町村は22市町で、100未満の市町村は58市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在でみると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を越え、昭和50年には102.0、以降は徐々に低下したが、昭和63年以降は再度上昇傾向にあり、平成6年には、過去最高の102.2となった。

図7 人口性比（昭和36年～平成10年、各年1月1日現在）



## 5. 世帯数

平成10年1月1日現在の  
 本県世帯数208万7千  
 1世帯当たり人員は  
 2.81人

平成10年1月1日現在の本県の世帯数は2,086,992世帯で、前年の世帯数2,052,989世帯に比べて34,003世帯増加し、増加率では1.66%となり、人口増加率0.50%よりも高い率となっている。

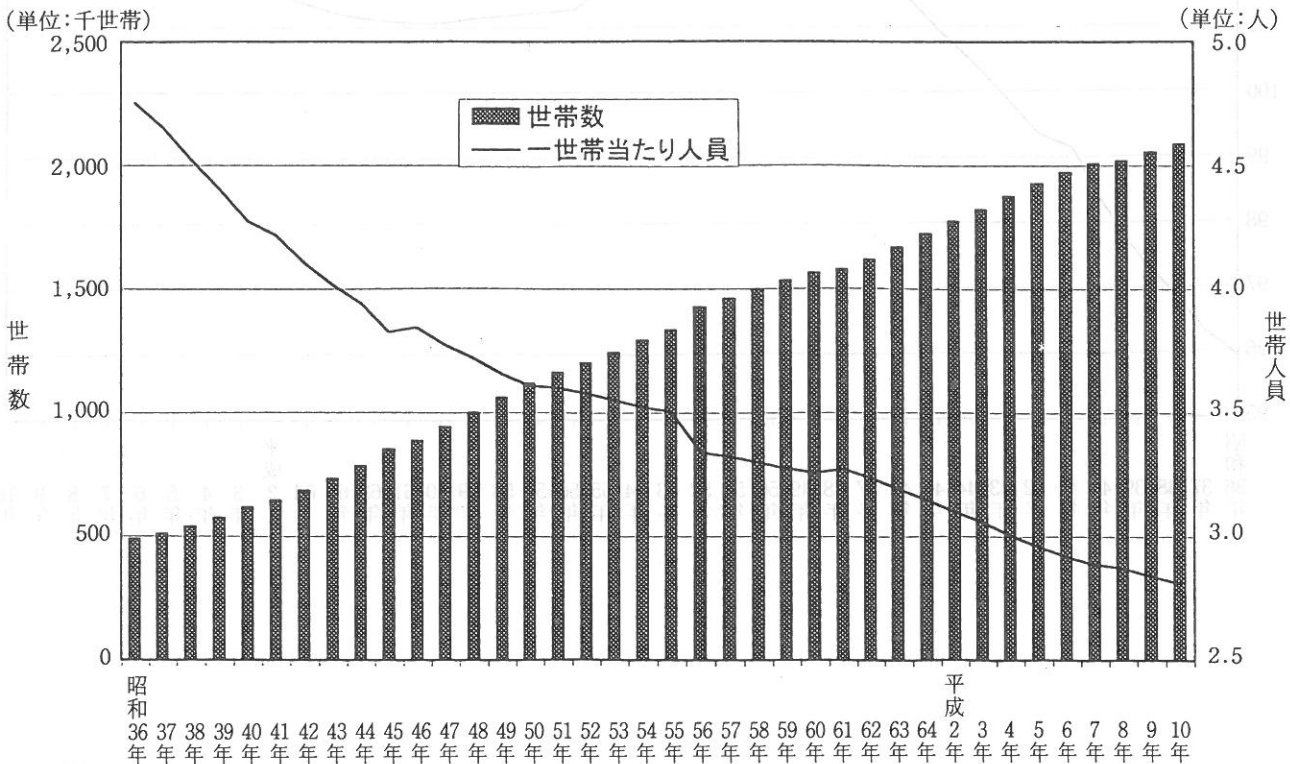
1世帯当たり人員は2.81人で、前年の2.84人に比べ0.03人減少した。また、1世帯当たり人員を市町村別に見ると、干潟町の4.41人が最も多く、以下、山田町4.09人、東庄町3.82人、印旛村3.79人、野栄町3.76人と続き、逆に最も少ないのは市川市の2.38人で、以下、浦安市2.42人、習志野市2.58人、船橋市2.59人、勝浦市2.63人の順となっている。県の1世帯当たり人員より少ないのは12市町で、多いのは68市町村となっている。

表4 月別世帯増加数（平成9年中）

	増加数	転入	転出	その他
1月中	723	6,155	5,935	503
2月中	187	6,497	7,048	738
3月中	1,653	18,488	17,489	654
4月中	15,821	21,283	9,523	4,061
5月中	3,461	8,166	6,034	1,329
6月中	1,905	6,629	5,798	1,074
7月中	1,361	7,655	6,977	683
8月中	1,825	7,022	6,261	1,064
9月中	2,040	7,401	6,296	935
10月中	2,757	7,845	6,261	1,173
11月中	1,483	5,659	4,747	571
12月中	787	5,848	5,655	594
計	34,003	108,648	88,024	13,379

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図8 世帯数及び世帯人員数の推移（各年1月1日現在）





## 6. 県外との人口移動

人口移動総数41万人  
移動率7.01%

平成9年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、410,182人で前年の411,860人に比べ1,678人減少し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は7.01%と、前年の7.08%に比べて0.07ポイント低下した。

8千人の転入超過  
転入超過率0.14%

平成9年中の県外からの転入者数は209,081人（前年209,223人）、転出者201,101人（同202,637人）で、転入超過数7,980人（同6,586人）となり、転入超過数は1,394人増加した。

また、平成9年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.14%と、前年の0.11%に比べて0.03ポイント上昇した。なお、県外との関係は36の都道府県から転入超過となり、10県へは転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（昭和58年～平成9年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
58	382,451人	7.67%	37,587人	0.75%	210,019人	172,432人	4,984,555人
59	374,500	7.40	33,154	0.66	203,827	170,673	5,060,124
60	374,583	7.31	31,067	0.61	202,825	171,758	5,127,278
61	376,498	7.24	38,086	0.73	207,292	169,206	5,202,569
62	401,782	7.61	57,850	1.10	229,816	171,966	5,283,115
63	417,118	7.75	64,544	1.20	240,831	176,287	5,380,759
平成元	422,316	7.72	54,224	0.99	238,270	184,046	5,471,257
2	432,300	7.79	43,116	0.78	237,708	194,592	5,546,610
3	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
4	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014

表6 転入・転出超過上位都道府県（平成5年～平成9年）

順位	平成5年		平成6年		平成7年		平成8年		平成9年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	東京都	17,215人	東京都	12,988人	東京都	8,624人	東京都	2,475人	神奈川県	1,268人
2	神奈川県	5,273	神奈川県	4,354	神奈川県	3,295	神奈川県	1,646	大阪府	1,174
3	大阪府	1,497	兵庫県	314	兵庫県	1,429	愛知県	673	東京都	637
4	北海道	1,146	北海道	304	広島県	144	大阪府	377	静岡県	386
5	福岡県	616	大阪府	289	岐阜県	110	広島県	343	愛知県	346
順位	平成5年		平成6年		平成7年		平成8年		平成9年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	茨城県	4,058人	茨城県	4,424人	茨城県	3,405人	茨城県	1,846人	茨城県	1,410人
2	埼玉県	807	栃木県	311	埼玉県	493	福岡県	589	長野県	176
3	栃木県	355	長野県	296	福岡県	436	宮城県	348	大分県	126
4	宮城県	237	群馬県	182	北海道	344	栃木県	322	鹿児島県	115
5	長野県	155	和歌山県	175	長野県	261	埼玉県	221	群馬県	75

## 7. 人口重心

人口重心は千葉市花見川区  
畑町付近

本県の人口重心は、平成10年1月1日現在で、千葉市花見川区畑町付近の東経140度5分18秒・北緯35度39分39秒の位置にあり、平成7年国勢調査（平成7年10月1日現在）時点より南南西方向に約300m移動した。

大正9年の人口重心は、市原市瀬又付近であるが、その後、人口重心は北西方向に移動してきている。

注) 人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持っているとして、地域内の人口を1点で支えて平衡を保つことのできる点をいう。これは人口の地域分布状況を集約して示す指標の一つである。なお、千葉県の人人口重心の計算にあたっては、県内各市町村の人口重心がそれぞれ現在の市役所・町村役場にあると仮定した。

表7 千葉県の人口重心の推移（大正9年～平成10年）

年次	東度分秒	北度分秒	移動距離 km	位置
大正9年	140 12 38	35 32 25	—	市原市瀬又付近
大正14年	140 12 24	35 32 49	0.8	千葉市誉田町付近
昭和5年	140 12 23	35 33 12	0.7	〃
昭和10年	140 12 22	35 33 29	0.5	〃
昭和15年	140 12 9	35 33 50	0.7	千葉市平山町付近
昭和22年	140 11 30	35 34 7	1.1	〃
昭和25年	140 11 24	35 34 18	0.4	〃
昭和30年	140 10 57	35 34 44	1.0	〃
昭和35年	140 10 8	35 35 23	1.7	千葉市仁戸名町付近
昭和40年	140 8 19	35 36 45	3.7	千葉市貝塚町付近
昭和45年	140 6 43	35 37 34	2.9	千葉市轟町付近
昭和50年	140 5 52	35 38 20	1.9	千葉市小仲台付近
昭和55年	140 5 27	35 38 53	1.2	千葉市小中台町付近
昭和60年	140 5 15	35 39 10	0.6	千葉市朝日ヶ丘付近
平成2年	140 5 8	35 39 28	0.6	千葉市畑町付近
平成7年	140 5 20	35 39 49	0.7	千葉市花見川区畑町付近
平成10年	140 5 18	35 39 39	0.3	〃

資料：大正9年～平成7年は、国勢調査結果による。（各年10月1日現在）  
平成10年は、千葉県毎月常住人口調査結果による。（1月1日現在）

図9 人口重心の移動（大正9年～平成10年）

